

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
障害児保育Ⅱ Child Care for the Disabled II		1年	後期	火曜日・1～2時限(隔週) 4～5時限(隔週)
単位数	授業の形態		授業の性格	
1単位	演習		選択 (保育士養成課程必修)	
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
障害児保育Ⅰ				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
保育士資格取得に必要な科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
小竹利夫	講義棟2階	月・火・水・木の8時～18時	授業中に指示します	
授業の概要				
障害の有無に関係なく、子どもの行動の見方・気持ちの理解の仕方・対応の仕方を具体的、実践的に学ぶ。				
授業の到達目標				
①「障害」の意味を理解し、バリアフリーに関心を持つことができるようにする。 ②子どもの行動の見方を知り、気持ちを理解できるようにする。 ③子ども一人ひとりの目線に立った保育をできるようにする。 ④様々な障害者に対して、気持ちに寄り添った支援をできるようにする。				
授業の方法				
文字資料やVTRを使って事例(ケース)を紹介し、具体的に進める。毎回、小レポート提出。また、各種障害の疑似体験・介助体験を行う。子どものおもちゃを手作りする。				
学習の成果				
①人の行動を通して、その意味や気持ちを理解することができる。 ②子ども一人ひとりの目線に立った保育をすることができる。 ③様々な障害者に対して、気持ちに寄り添った支援をすることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス。(授業の内容・進め方・評価の方法)			
第2回目	偏見・差別とバリアフリー。手話と指文字。			
第3回目	行動の意味を考える。			
第4回目	おもちゃ・教材作り①。(キラキラペットボトル)			
第5回目	幼稚園での実習エピソード。			
第6回目	保育園での仕事。			

第7回目	幼稚園での教育実習に向けて。	
第8回目	幼稚園での教育実習を振り返り、省察する。	
第9回目	児童養護施設の仕事。	
第10回目	虐待による心の傷と対応。	
第11回目	障害児施設での実習。	
第12回目	障害児保育の実際。	
第13回目	保育園での実習。	
第14回目	保育実習に向けて。	
第15回目	まとめ。	
成績評価の方法と基準		
	評価の領域	割合
授業参加態度	50%	授業を集中して聞き、質問に対して積極的に答える。必要なことはきちんとノートに取る。
レポート	50%	毎回授業の課題に沿って小レポートを提出する。授業の内容を理解した上で、自分の考えを展開することが求められる。
調査報告書		
小テスト		
中間・学期末試験		
発表内容(態度含む)		
その他		
教科書と参考図書		
教科書：「心の触れ合いを求めて」(小竹利夫)。 参考資料：実習エピソード集「心の触れ合いを求めて」(2008)(2009)(2010)(2011)(2012)。「実習での心の育ちあい」(小竹利夫)。その他、適宜資料を配布。		
履修上の心得・ルール		
私語禁止。飲食禁止。		